

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●オークスはチェルヴィニアが優勝

5月19日(日)に行われた優駿牝馬(オークス・GI)では、桜花賞で13着に敗れたチェルヴィニア(牝3歳/美浦・木村哲也厩舎)が巻き返して優勝、GI初制覇を果たしました。グレード制が導入された1984年以降、前走2桁着順からオークスを制したのは2013年メイショウマンボ(前走桜花賞10着)に次いで2頭目のことです。

●坂口智康騎手がJRA初勝利をあげる

5月19日(日)の1回新潟8日・第4レースではスピアヘッドが1着となり、同馬に騎乗した坂口智康騎手(美浦・尾形和幸厩舎)は、JRA初勝利(20戦目)をあげました。

●浜中俊騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

5月19日(日)の3回京都第10日・第6レースでデトネーションに騎乗した浜中俊騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上46人目・現役26人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●調教師4名が節目の勝利を達成

5月18日(土)の1回新潟7日・第1レースではサベラヴィが1着となり、同馬を管理する南田美知雄調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(延べ5909頭目)を達成しました。同日の3回京都9日・第9レースとして行われたメルボルンTではスマートワイスが1着となり、大久保龍志調教師(栗東)が現役17人目となるJRA通算600勝(延べ5521頭目)を達成。さらに新潟の第12レースではグッドウッドガイが1着となり、村山明調教師(栗東)が現役67人目となるJRA通算300勝(延べ4292頭目)を達成しました。そして翌19日(日)の2回東京10日・第10レースとして行われたJRAウルトラプレミアムエアグルーヴCではルクスフロンティアが1着となり、松永幹夫調教師(栗東)は現役25人目となるJRA通算500勝(延べ4844頭目)を達成しました。

●春の新潟リーディングは佐々木大輔騎手が獲得

5月19日(日)をもって1回新潟競馬が終了し、9勝をあげた佐々木大輔騎手(美浦・菊川正達厩舎)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●服部寿希騎手が引退

服部寿希騎手(栗東・杉山晴紀厩舎)が5月19日(日)付で引退しました。JRA通算成績は681戦6勝でした。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●新緑賞(笠松)は愛知のミトノウォリアー【各地の主要3歳重賞】

新緑賞(5月9日、笠松、1400^米)は、駿蹄賞4着から中5日出走したミトノウォリアー(牡、父マジェスティックウォリアー)が3番手追走から3、4コーナー中間で先頭に立って3馬身差で楽勝、単勝1.3倍の支持に応えました。黒潮皇月賞(5月5日、高知、1400^米)は、逃げた単勝1.3倍で圧倒的人気のプリフロールイン(牡、父アニマルキングダム)が後続を6馬身引き離し、デビュー2戦目から7連勝。のじぎく賞(5月9日、園田、1700^米、牝馬)は、中団から追い上げた2番人気の愛知からの遠征馬マジロハービー(父ストロングリターン)がゴール前で差し切り、3度目の重賞制覇を果たしました。新設されたフロイラインスプリント(5月16日、門別、1200^米、牝馬)は、4番手を進んだ1番人気のヴィヴィアンエイト(父フリオーツ)が残り50^米で逃げ馬を捉え、こちらも3回目の重賞勝ち。イーハトープマイル(5月19日、盛岡、1600^米)は、中団から徐々に位置取りを上げた1番人気の北海道からの転入馬レッドオパール(牝、父ニシケンモノノフ)が直線半ばで抜け出し、2歳時の寒菊賞に次ぐ重賞タイトルを獲得しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ブリークネスS～シーズザグレイが逃げ切る

米三冠の2戦目にあたるG1ブリークネスS(3歳、ダート1900^米)が現地5月18日にアメリカ・メリーランド州のビムリコ競馬場で行われ、重馬場の中、Jトーレス騎手を背に逃げたシーズザグレイ(牡3歳、父アロゲート、D.ルーカス厩舎)がG1ケンタッキーダービーとの二冠制覇を狙ったミスティックダンに2馬身1/4差をつけて優勝しました。シーズザグレイはブリーダーズCクラシックやドバイワールドCなど4つのG1を制したアロゲートの産駒。2歳時を5戦1勝で終え、今年は2月の今季初戦(ダート1700^米)を制した後、3月のG3ジェフルビーSが3着、4月のG1ブルーグラスSも7着でしたが、ケンタッキーダービーと同じ5月4日にチャールズタウン競馬場で行われた前走のG2パットデイマイルS(ダート1600^米)で重賞初制覇を果たしてここに臨んでいました。トーレス騎手(デビュー3年目の25歳)はこれが初のG1制覇。88歳のルーカス調教師はコデックス(1980年)、タンクスプロスベクト(1985年)、タバスコキャット(1994年)、ティンバーカントリー(1995年)、カリズマティック(1999年)、オックスボウ(2013年)に続くこのレース7勝目です。